

# 有機農業普及へ

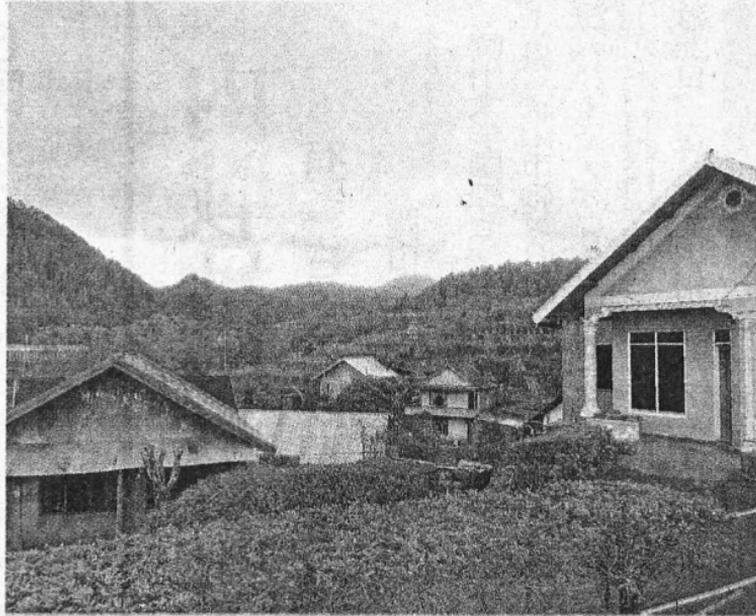
新庄村と連携  
来年1月にも  
インドネシア訪問

岡山県新庄村などと連携してアジアでの有機農業推進を目指す国際医療ボランティアAMDA(本部・岡山市北区伊福町)は、インドネシア・スラウエシ島南部のマリノ村での普及計画を進めている。職員が来年1月にも、有機農業経験のある新庄村民と訪



問。現地の農業実態や課題を調査し、適した作物や栽培法を探る。

AMDAは新庄村、岡山商科大と連携し、昨年から同村内で有機農業を試行。4月から発展途上国に有機農業を根付かせる「AMDAフードプログラム」として本格始動し、職員2人が村に居住して米や野菜を栽培して



いる。蓄積したノウハウを「させ、健康的で付加価値を発展途上国に定着」値のある農産物栽培を

図ることで、農民の健康と収入向上を目指す。

標高千以上に位置するマリノ村は、同プログラム海外実践候補地第1号。計画では来年1月ごろ約1週間訪問し、候補地を視察するほか、土壌検査、市場調査などを行う。同行する新庄

村民は農家の目線で意見を述べる。来年度以降、同村にマリノ村から研修生を受け入れることも検討している。

AMDAによると、発展途上国では残留農薬による健康被害が問題化。柴田宙樹プロジェクトオフィサーは「マリノ村の夏は寒暖差が大きく、新庄と条件も近い。培った経験を基に現地に適した作物や栽培法を一緒に考えたい」としている。(三島翔)

AMDAが有機農業の普及計画を進めているインドネシア・マリノ村 2011年10月